

(様式1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 障害福祉課

2 施設所在地
富山市下飯野36番地

3 施設設置年度
平成27 年度

4 設置目的
障害者、障害児、高齢者等に高度かつ専門的なリハビリテーション医療を提供するとともに、障害児に相談、指導、訓練その他の支援を行うことにより、障害者等の社会復帰及び健全な発達を促進し、もって障害者等の福祉の増進を図る。

5 施設概要

- ・建物の構造及び面積
- ①富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
(鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造及び鉄骨造6階建)
19,260.04㎡
- ②旧富山県高志リハビリテーション病院の一部
(鉄筋コンクリート造5階建)
9,523.95㎡
- ・病床数：232床

6 指定管理者
(福) 富山県社会福祉総合センター

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人)

R2	R3	R4	R5	R6
150,739	149,954	148,674	150,645	147,769

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R2	R3	R4	R5	R6
3,453,949	3,416,160	3,318,532	3,411,642	3,389,519

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R2	R3	R4	R5	R6
3,659,386	3,659,386	3,659,386	3,550,620	3,550,620

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

近隣病院の病棟新設などにより、入院、外来患者数ともに減少したが、国や県の補助金を活用し、収入の確保に努めた。
診療科については12科、専門外来については13科体制を維持するなど、より総合的な診療体制の確保を図るとともに、各科が連携したスムーズな診療に努めた。

(2) サービス向上に向けた取組み

①土、日及び休日リハビリテーション(365日リハ)の実施
②重症度・看護必要度の高い患者の受入
③入院待ち日数短縮化に向けた各種取組み(紹介元医療機関との連携の強化や他職種によるチーム医療など、入院患者の早期回復・退院支援・在宅復帰に向けた療養環境の整備)の実施
④脳卒中患者等に、歩行練習支援ロボットや上肢ロボット等を活用した訓練を行うなどの先進的・効果的なリハビリ
⑤令和5年度から北陸で初めて仮想現実(VR)を活用したリハビリテーション医療機器「mediVRカグラ」を導入し、脳卒中や神経難病、脊髄や肩・股関節などの整形外科疾患をはじめ慢性疼痛など幅広い疾患に活用
⑥令和6年1月に、富山大学附属病院と、患者の紹介・受入れや医療スタッフ等の質の向上などに関する医療連携協定を締結した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

365日リハの一層の充実にも努めるとともに、手術件数・外来患者の増加策の検討や病床利用率の安定的な確保を図るなど病院経営の改善・安定に努める。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	アンケート用紙を退院患者に配布(通年実施)
回答者数	122人
結果	医師の診断・内容の説明(良かった84% 普通16% 悪かった0%) 看護の丁寧さ(良かった84% 普通16% 悪かった0%) 利用者に対する優しさ(感じる93% どちらともいえない7% 感じない0%) 抜粋
結果を踏まえた改善事項	アンケートの結果をもとに、それぞれの部署において接遇のさらなる向上に向け、誠意をもって取り組んでいる

②その他利用者の声を反映させる取組み

医療ソーシャルワーカーを配置し、入院当初や入院中の患者・家族との面接などを通して入院中や退院後の各種相談に応じている。
利用者満足度調査を実施し、調査結果に基づき、利用者にとってより快適な病院になるよう取り組んだ。

③主な苦情と対応

ご意見箱を設置するなど、利用者からの様々な苦情・要望等に対し、所管の委員会等で検討・協議を行い、是正、改善を図った。

(具体的な内容と対応)

リハビリのキャンセルが出た際の予約について、3時間前までしかインターネット上の予約画面に表示されないため、2時間前、1時間前でも予約が取れるようにしてほしいとの要望があった。

インターネットでキャンセル枠を予約できるシステムを新たに導入し、予約については、安全で充実した訓練ができるよう事前の情報収集を確実にを行うため3時間前としているが、1～2時間前でも電話対応可としている。

(5)個人情報保護の取組み

個人情報保護規程を基本として、プライバシーポリシー・個人情報の利用目的の施設内掲示、「入院案内」への記載、診療録等情報の管理の徹底、実習生への情報管理の徹底に係る教育等の取組みを実施している。

(6)関係団体との連携

病院・福祉施設・地域のリハビリテーションスタッフ・福祉関係者、そして地域の方々との連携を図り、患者や家族に対して良質で効率的な医療・リハビリテーションを提供するため、地域医療福祉連携室において、関連病院・施設との入退院等の連絡調整や患者等の医療福祉に関する相談に応じた。

(7)施設・設備の維持管理

各施設設備の計画的な整備点検・修繕を実施し、適切に管理している。

(8)危機管理・安全管理などの取組み

①医療安全管理指針及び事故発生時の対応等各種マニュアルを整備済

②患者の安全と病院の保全を図るため、平成28年度に作成した病院の防災指針や防災マニュアルを受け、地震などの大規模災害に対応できるように、事業継続計画(BCP)を平成30年3月に策定し、BCP訓練を行っている。

③院内に設置している「医療安全委員会」及び「感染対策委員会」を月1回定期的に開催し、医療安全対策として、主にインシデント・アクシデント事例の分析と防止策の検討・実践、感染対策として、院内感染防止等の検討と実践や院外での勉強会への参加、さらに職員の資質向上を目的として院内研修会を行った。

④病院各所に非常通報装置、職員駐車場に防犯カメラを設置し、患者等の利用者や職員の安全向上に努めた。

⑤新型コロナウイルス感染症対策として、入口での検温・手指消毒の徹底などに努めた。また、令和6年3月には感染拡大時に対応できるように事業継続計画を策定した。

⑥令和6年1月1日に発生した能登半島地震に際しては、災害対応上の様々な課題が判明したため、検討会及びワーキンググループを設置し、各種課題への対応について検討を進めた。

10 所管課の管理運営確認状況

	有／無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	1
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

—

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ①安定的な運営を確保するための一定の収支の改善及び、黒字であっても突発的なリスクに対応できる程度の財務状況の改善
- ②急性期病院との連携を強化するなど、入院患者等の利用者増に向けた取り組み
- ③少子化等により近年利用が減少傾向のこども支援センターの効率的な運営に向けた取り組み